

第14回全国犯罪被害者の会 大会 開催

平成27年4月29日（昭和の日）、東京都中野区のZEROホール西館学習室において大会を開催し、役員を選任、会務報告がされました。12名の幹事は留任、新たに2名の幹事が選任されました。大会の要旨を再録します。

開会の辞 松村恒夫

本日は、祝日、またお忙しい中、ご参集くださいますありがとうございます。

『あすの会』の設立目的は、1.犯罪被害者の権利確立と2.被害回復制度の確立であることは皆様ご存じの通りです。前者は被害者参加制度が創設されるなどの進展が図られましたが、後者の被害回復制度につきましては、本当に困っている犯罪被害者等にはまだ不十分だと思います。そのため、与党各党に対する働きかけをすることにしております。

『あすの会』の幹事役員の任期は2年ですので、規約からすれば、この1月で任期切れとなっております。そこで本日は、役員の変更が主要な大会審議事項であります。

ご挨拶（要旨） 岡村 勲 顧問

今年はみなさんにお会いでき嬉しく思います。15年前の設立総会では、集まってくれるだろうか心配しましたが、大勢の方が集まってくださり、それぞれに被害内容を報告してくれました。その時のことが彷彿としてきます。

その頃は被害者の権利は全くありませんでした。被害者は病院へ行く車代も治療費も診断書代も自分で払わなければなりません。こんなにおかしなことがあるのかと思いました。こうして15年経ってみると我々の疑問が消えてきました。被害者にもそれらが払われるようになり、裁判所でも起訴状も見られるし、法廷の中にも入れるし、被害者が参加すれば旅費や日当も払われるなど、小さいことですが積み重なって今日までできたわけです。皆さんの努力の賜物であり非常に嬉しく思います。

その結果が『雲外蒼天』という本に著されました。これを読んでみますと、いろんな方がいろんな角度からこの運動に参加してくださったということがよくわかります。あすの会は、「今日は大変だけれども明日はきっと良くしてみせる」と付けた名前ですが、雲外蒼天も、「今は雲がかかっている、しかし雲の上には蒼空がある」というところから付けたものです。まだまだ雲がかかっておりますけれども、きっと蒼空になることでしょうから、頑張っていきましょう。

会務報告

犯罪被害者の被害回復制度について、当会が作成した『犯罪被害者補償制度案要綱（生活保証型）』は、内閣府



の「犯罪被害給付制度の拡充及び新たな補償制度の創設に関する検討会」で取り上げられましたが、平成26年1月の提言に盛り込まれることはありませんでした。自民党、公明党の与党や維新の会へ経済補償制度の実現を求めて働き掛けをしましたが、各政党からは「より多くの現に困窮されている犯罪被害者の実例」を集めることを求められ、弁護士の協力を得て収集に努力しました。

被害者参加制度については、法務省の「改正刑事訴訟法等に関する意見交換会」に高橋副代表が参加し、公判前整理手続きへの被害者の関与等の改善を申し入れております。

昨年、発会15年目を迎え、記念する文集として『雲外蒼天』を完成することができました。以上、報告いたします。

役員選任

幹事／役員候補者

〈再任〉猪野京子、内村和代、岡崎后生、假谷 実、高橋幸夫、土師 守、林良平、松尾明久、松村恒夫、本村 洋、渡辺 保、高橋正人（弁護士）

〈新任〉辻内衣子、後藤啓二（弁護士）

会計監査：田村紀久子

顧問：岡村 勲、諸澤英道

尚、代表幹事等の役職は変更ありません。

新幹事からのご挨拶

辻内衣子／事件に遭う少し前にNHKテレビであすの会の活動を目にした時は、自分に関わるとは思ってもおりませんでした。事件後、入会した頃には、被害者の権利を求める署名活動も半ばを過ぎており一番の苦勞を知らずに集会に参加するようになりました。今回、幹事に選任されま

したので微力ながらご協力させていただければと思っており
ます。

後藤啓二／顧問弁護団として、被害者参加制度の法律の
提言の頃から関わらせていただいておりますが、この度、
幹事に選任されました。私は児童虐待を防止するための活
動を行う NPO の理事をしておりますが、そちらの活動に

も協力させていただいております。感謝申し上げます。

今後の活動方針

今後の活動については、これまでの活動方針を踏まえ活
動してまいります。

なお、鳩山邦夫、左藤章衆議院議員より祝電を頂きまし
た。感謝申し上げます。

15周年記念誌「雲外蒼天」完成記念懇親会



大会終了後、15周年記念誌「雲外蒼天」完成記念懇親
会が開かれました。ご執筆いただいた方、支援者の方が、
あすの会の来し方16年間を振り返りました。

松村代表 挨拶（要旨）

あすの会では5年目は署名活動の記録として「あすに
生きる」、10年目には大会の記録「一瀉千里」とDVD「10
年歩み」の公式記録を作成してまいりました。そこで15
年目は、「あすの会の活動に関わってきた会員、支援者、
議員、マスコミ、法曹界等広く多くの方々から会に対する
今までの想いや裏話などを寄稿していただき文集を作っ
たらどうだろうか」と岡村顧問より提案があり実行されま
した。

編集委員には6人が携わり、素人ゆえ苦勞はしましたが
3月には完成に至りました。中でもボランティアの春日
さん、橋本さんに参加いただけては完成にはもっと多
くの時間が必要だったことでしょう。皆様のご協力に感謝
し完成ご披露の挨拶とさせていただきます。

岡村 勲 顧問 挨拶（要旨）

待望の「雲外蒼天」が完成し嬉しく思います。あすの会
では、顧問弁護団の先生方が無報酬で取り組んでくださり、
意見書、論文、調査報告書などすばらしい理論的な学会

をリードするほどのものを発表してきました。ただし難し
くて重いものでした。そこで、15年間いろいろな方がい
ろいろな形で協力して下さったことが分かると同時に日
本の被害者運動史として残るような、軽くて電車の中でも
読めるようなものを作りたいと思いつきました。題名には、
「あすの会」の願いを引き継いで、今は曇ってはいるが空
には蒼空があると思い提案しました。題字も書くようにと
いうことでしたので、書道の先生に泣きついてお手本をい
ただきました。横だけではなく縦もという事で困りました。

今日は私の86才誕生日だとばらされましたが、会を作
って16年間、当初は歳を感じませんでした。この頃は歳
を感じます。今日は、但木元検事総長も来てくださるそう
ですが、法務省官房長の時にお世話になりヨーロッパ調
査をすることができました。内閣府の安田さんも来てくだ
さっていますが、加害者だけでなく被害者にも治療費等が
出るようにするなど拡大されて改善されてきました。感謝
しております。これからも益々空が晴れるようにと思っ
ております。

諸澤先生の乾杯と、但木元検事総長をはじめとする方々
からご挨拶をいただき、和やかな雰囲気の中でおひらきと
なりました。

